



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 ニッキ
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 和田 孝
 (氏名) 田中 宣夫

上場取引所 東
 TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,055	6.9	172	6.1	169	△39.0	74	△64.1
2019年3月期第1四半期	1,923	△16.0	162	△26.7	278	10.6	206	9.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △27百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 96百万円 (△63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	39.40	—
2019年3月期第1四半期	110.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	13,643	7,543	55.0	3,986.90
2019年3月期	13,479	7,731	57.1	4,090.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 7,504百万円 2019年3月期 7,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	7.8	270	△21.7	290	△44.0	210	△46.4	111.71
通期	8,800	11.9	590	△24.6	610	△37.5	430	△46.4	228.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,000,000 株	2019年3月期	2,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	117,630 株	2019年3月期	117,630 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	1,882,370 株	2019年3月期1Q	1,873,977 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が持続したものの、輸出や生産面では弱さが見られるなど停滞感が強まりました。また、世界経済は、米中貿易摩擦の拡大・長期化、それに伴う中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題、中東の地政学的リスクの高まり等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は、中国向けガス製品の販売増加や燃料ポンプの販売増加等により、連結売上高は20億5千5百万円（前年同期比6.9%増加）となりました。

損益につきましては、売上高の増加や汎用機器部門の採算性の改善等により、営業利益は1億7千2百万円（同6.1%増加）、為替相場がやや円高基調で推移したため、経常利益は1億6千9百万円（同39.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7千4百万円（同64.1%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ガス機器事業は、中国市場向け製品の販売増加等により、売上高は8億6千2百万円（同3.8%増加）となりましたが、収益性の高い受託実験売上の減少により、セグメント利益は3千5百万円（同24.6%減少）となりました。

汎用機器事業は、燃料ポンプや採算性を改善した新機種の販売増加等により、売上高は9億2千1百万円（同23.0%増加）、セグメント利益は2千7百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

自動車機器事業は、フォークリフト向けキャブレタの一時的な販売減少等により、売上高は1億3千2百万円（同35.2%減少）、セグメント利益は0百万（同93.5%減少）となりました。

不動産賃貸事業は売上高1億3千8百万円（同増減なし）、セグメント利益は1億7百万円（同3.8%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は136億4千3百万円と、前連結会計年度末と比べて1億6千4百万円増加しました。主な増減項目は、現金及び預金の増加（2億5千万円）、商品及び製品の増加（1億8千4百万円）、投資有価証券の減少（1億5千2百万円）、機械装置及び運搬具の減少（5千8百万円）、受取手形及び売掛金の減少（5千3百万円）であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は60億9千9百万円と、前連結会計年度末と比べて3億5千1百万円増加しました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の増加（2億7千7百万円）であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は75億4千3百万円と、前連結会計年度末と比べて1億8千7百万円減少しました。主な増減項目は、その他有価証券評価差額金の減少（1億7百万円）、利益剰余金の減少（8千5百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に開示いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想値、通期連結予想値の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,975,730	4,226,151
受取手形及び売掛金	1,239,058	1,185,866
電子記録債権	228,827	213,103
商品及び製品	651,300	835,597
仕掛品	1,100,357	1,113,025
原材料及び貯蔵品	51,148	54,778
その他	214,165	239,401
貸倒引当金	△5,005	△3,962
流動資産合計	7,455,582	7,863,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,663,045	2,630,229
機械装置及び運搬具（純額）	993,076	934,263
その他（純額）	553,794	592,176
有形固定資産合計	4,209,916	4,156,668
無形固定資産	66,707	63,462
投資その他の資産		
投資有価証券	1,680,908	1,528,501
その他	65,981	30,509
投資その他の資産合計	1,746,890	1,559,010
固定資産合計	6,023,513	5,779,141
資産合計	13,479,096	13,643,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,007	526,791
電子記録債務	426,410	425,770
短期借入金	2,308,148	2,308,146
未払法人税等	111,825	60,182
賞与引当金	154,050	85,802
その他	548,903	802,314
流動負債合計	3,798,345	4,209,008
固定負債		
長期借入金	154,073	150,000
退職給付に係る負債	908,213	872,114
その他	886,933	868,228
固定負債合計	1,949,220	1,890,342
負債合計	5,747,566	6,099,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	45,257	45,257
利益剰余金	6,516,452	6,430,608
自己株式	△277,732	△277,732
株主資本合計	6,783,977	6,698,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	867,851	760,301
為替換算調整勘定	52,627	46,160
退職給付に係る調整累計額	△4,266	232
その他の包括利益累計額合計	916,212	806,694
非支配株主持分	31,340	38,923
純資産合計	7,731,530	7,543,751
負債純資産合計	13,479,096	13,643,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,923,572	2,055,603
売上原価	1,380,156	1,511,871
売上総利益	543,416	543,731
販売費及び一般管理費	381,185	371,550
営業利益	162,231	172,181
営業外収益		
受取利息	2,047	2,704
受取配当金	40,392	37,047
為替差益	70,004	—
その他	10,184	3,594
営業外収益合計	122,629	43,346
営業外費用		
支払利息	6,748	7,138
為替差損	—	38,620
その他	0	0
営業外費用合計	6,748	45,759
経常利益	278,112	169,768
特別損失		
固定資産除売却損	17	20
特別損失合計	17	20
税金等調整前四半期純利益	278,095	169,748
法人税等	76,062	88,549
四半期純利益	202,032	81,198
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,793	7,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,826	74,157

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	202,032	81,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,648	△107,549
為替換算調整勘定	△59,564	△5,925
退職給付に係る調整額	5,324	4,498
その他の包括利益合計	△105,888	△108,976
四半期包括利益	96,144	△27,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,017	△35,361
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,873	7,583

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社において、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が24百万円、流動負債の「その他」が7百万円及び固定負債の「その他」が17百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	831,087	748,801	205,142	138,542	1,923,572	—	1,923,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	831,087	748,801	205,142	138,542	1,923,572	—	1,923,572
セグメント利益又は損 失(△)	47,462	△8,647	11,508	111,908	162,231	—	162,231

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	862,940	921,141	132,978	138,542	2,055,603	—	2,055,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	862,940	921,141	132,978	138,542	2,055,603	—	2,055,603
セグメント利益	35,774	27,991	749	107,665	172,181	—	172,181

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。